

《全国初、池田発の地域分権》

「地域の人々が共生し、みんなで作る 安心・安全・きれいなまち」

いしばしみなみ

NO.39

発行
石橋南地域コミュニティ
推進協議会
編集
広報部会

令和3年10月17日 臨時総会開催 令和4年度提案事業決定

1. 令和4年度提案事業予算 13,311,000円 (事業提案予算額 6,703,000円 前年度基金 6,608,000円)
令和4年度提案事業費 3,385,000円 (次年度基金積立金 9,926,000円)

2. 市・地域継続提案事業費 2,019,000円

1) 市実施事業

- ① 市民レクリエーション事業 200,000円
- ② 防犯カメラ維持管理事業 (6台) 711,000円
- ③ 石橋会館清掃事業 106,000円
- ④ 空港会館 (大会議室洗浄事業) 15,000円
- ⑤ AED管理事業 10,000円

2) 地域実施事業

- ⑥ 事務費 100,000円
- ⑦ コミュニティ紙発行事業 (年3回) 275,000円
(地区内全戸配布料含む)
- ⑧ 地域行事等活動推進事業 165,000円
- ⑨ 石橋会館管理運営費 437,000円

3. グループ別提案事業 1,366,000円

- ⑩ 住吉2丁目公園防災倉庫内資機材設置事業 197,000円
- ⑪ 石橋南地域掲示板マグネット化改修工事業 (5件) 149,000円
- ⑫ カーブミラー設置事業 (石橋3丁目1-5) 159,000円
- ⑬ 河川鉄骨ゴミ取枠交換事業 (住吉1-8) 26,000円
- ⑭ 河川鉄骨ゴミ取枠設置工事業 (石橋1-12) 256,000円
- ⑮ 石橋会館内手すり設置事業 437,000円
- ⑯ 石橋会館門扉排水側溝修繕事業 44,000円
- ⑰ 石橋南小「花いっぱいプロジェクト」推進事業 98,000円



4. 市長への要望事項

- ① 阪大下交差点の拡張工事について
- ② 今井川疎水改修事業 (緑と水辺の回廊) について
- ③ 住吉神社側道整備・アスファルト整備・除草について
- ④ 空港1丁目地下道修繕について
- ⑤ 住吉1丁目里道修繕について
- ⑥ 石橋商店街サンロードの歩道について



(ことば)

“失ったものを数えるな! 残されたものを最大限に活かせ!” (パラリンピック創始者 グッドマン博士)

会 員 募 集

少しの時間を私達と一緒に有効に活用して下さる仲間を募集しています。

私達、石橋南地域コミュニティ推進協議会では、地域の皆様の安心・安全で住みよい街づくりのための活動をしています。(会長:角田 ☎761-2714 コミュニティー推進課 ☎754-6641)

令和3年度事業進捗状況

①地域防災体制等強化事業
(石橋駅前公園) (9月)



②地域防災体制等強化事業
(住吉2丁目新池公園) (10月)



③地域会館内設備改修事業
(石橋会館内柵設置) (10月)



- ④ハザードマップ作成事業(地域住民の安全対策に内容を更新…地区内全戸配布) (5月)
 ⑤地域内会館備品整備事業(会館利用者の利便向上の為、会議用テーブル6台補充) (5月)
 ⑥防犯カメラ維持管理事業(地区内6台分 等) (8月)
 ⑦地域内会館清掃事業(空港会館大会議室にワックス塗布) (9月)

もしもの時に備えて～減災グッズチェックリスト～

近年、地震や台風、大雨など多くの自然災害が発生しており、防災や災害対策が重要になってきています。もしもの時に備えて、非常用持ち出し品を用意している家庭は多いと思いますが、本当にそれで十分でしょうか？

阪神・淡路大震災を機に設立された「人と防災未来センター」では、非常時に備えるための減災グッズを、0次、1次、2次の3段階に分けるよう勧めています。それぞれの備えや何が必要なのかなど紹介します。

“まずは1次から。次いで0次・2次も”

- 0次の備え…いつも携帯!「非常持ち出し品」として備えるものの中から携帯出来そうな物は、いつも使うバックやポケットに入れて安心感を持ち歩こう。(持病薬・携帯電話・ハンカチ・ティッシュ等)
- 1次の備え…非常持ち出し品を備えよう!飲料・食品・着る物(最低1日分)をリュックサックなどにまとめ、玄関など持ち出しやすい場所に置く。
- 2次の備え…安心ストック!非常時ライフラインが途絶え、助けの手が届かなくても何日間は自給自足出来る飲料・食料品など少なくとも3日以上分のストックを。



この減災グッズチェックリストは、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターホームページ (<https://www.dri.ne.jp/>) からダウンロードできます。ぜひご活用ください。

相談窓口 市役所「市長公室 危機管理課」 ☎754-6263

ご協力ください ごみの減量とリサイクル

池田市ではごみの排出量を平成20年度比20%の削減を目標に取り組まれています。今回は令和元年度の状況について報告されています。

■ごみの排出量は?

令和元年度のごみの排出量は32,014tで、これは市民1人が1日当り847gを排出していることになり、平成20年度(34,936t)と比較すると8.4%の減少となっています。

■ごみ処理にかかる経費は?

令和元年度のごみの収集・処理経費は、11億2,627万円で市民1人当り1,871円の費用がかかっています。ごみ処理経費の一部には、指定袋と粗大ごみ処理券の販売収入が使われています。

■リサイクルの状況は?

令和元年度のリサイクル量は、3,737tで、リサイクル率は11.7%でした。このうち、子ども会等が主体となって実施している集団回収は1,331tで全リサイクル量の35.6%を占めています。

■家庭で実践できる減量対策!!

「生ごみのひと絞り」があります。生ごみの80%が水分といわれています。各家庭で捨てる前に「ぎゅっ!!」と絞るだけでごみの減量や処理経費の軽減につながります。

私達1人1人が日常生活の中でこれらの事を考え協力しましょう!!
(2021.1 広報いけだより転載)



お問い合わせ先 市役所「環境政策課」 ☎754-6240